表１．アクションプランの目標値との比較（2022 年）

調査医療機関数：4 病院

AMRアクションプランの指標	目標値 2020年	2027年	今回の調査結果	耐性件数	検査数	達成／未達成
バンコマイシン耐性菌腸球菌感染症の罹患数（全国	135人	80人以下	0	0	550	ー
黄色ブドウ球菌のメチシリン耐性率	50%	20%以下	26.2%	317	1211	未達成
大腸菌のフルオロキノロン耐性率	35%	30%以下	26.3%	230	875	達成
緑膿菌のカルバペネム耐性率	11%	3%以下	8.2%	41	500	未達成
大腸菌・肺炎桿菌のカルバペネム耐性率（※）	0.1-0.2%	0.2%以下	-	-	-	-
大腸菌のカルバペネム耐性率			0.4%	5	1263	未達成
肺炎桿菌のカルバペネム耐性率			0.2%	1	557	未達成

※村山AMRネットワークの集計結果としては大腸菌と肺炎桿菌をそれぞれ別で集計して表記した

表２．村山 AMR ネットワークで集計、算出した耐性率（2022 年）

調査医療機関数：4 病院

		薬剤名	アクションプラン目標値	耐性率(%)	耐性件数	検査数
①	腸球菌のバンコマイシン耐性率			0	0	550
②	黄色ブドウ球菌のメチシリン耐性率★		20%以下	26.2	317	1211
③-1	大腸菌のフルオロキノロン耐性率★	LVFX	30%以下	26.3	230	875
③-2	〃 のフルオロキノロン耐性率★	CPFX		17.8	332	1865
③-3	〃 のカルバペネム耐性率★	MEPM	0.2%以下	0.4	5	1263
③-4	〃 のカルバペネム耐性率	IPM		0.17	3	1764
④-1	多剤耐性緑膿菌（3剤耐性）			0	0	283
④-2	多剤耐性緑膿菌（2剤耐性）			0.67	7	104
④-3	緑膿菌のカルバペネム耐性率★	MEPM	3%以下	8.2	41	500
④-4	〃 のカルバペネム耐性率	IPM		9.4	47	500
④-5	〃 のアミノグリコシド系耐性率	GM		8	40	500
④-6	〃 のフルオロキノロン系耐性率	LVFX		5.4	27	500
④-7	〃 のフルオロキノロン系耐性率	CPFX		2.1	7	339
⑤-1	肺炎桿菌のカルバペネム耐性率★	MEPM	0.2%以下	0.2	1	557
⑤-2	〃 のカルバペネム耐性率	IPM		0	0	557
⑥-1	多剤耐性アシネトバクター属（3剤耐性）			0	0	102
⑥-2	〃 （2剤耐性）			9.8	10	102
⑥-3	アシネトバクター カルバペネム系耐性率			16.7	18	108
⑥-4	〃 アミノグリコシド系耐性率			0	0	108
⑥-5	〃 フルオロキノロン系耐性率			24.1	26	108

★ AMR対策アクションプラン成果指標項目